

図書館 だより

上野図書館
☎ 21-6868 FAX 21-8999



司書のおすすめ

■ 絵本
『ならしている』

五味 太郎 / 作 (絵本館)



トライアングル、マラカス、なべ、花火、木琴、のこぎり、花瓶…。ペンギンたちが色んなものをならしています。こっちでも、そっちでも。おもいおもいに、きまみに。すると…。(TRC MARC より)

■ 一般書
『本が大好きになる図書館の使い方
読書を最高のエンターテインメントに』
つのだ 由美こ / 著 (秀和システム)

■ 児童書
『消えたモナ・リザ』
ニコラス デイ / 作、千葉 茂樹 / 訳 (小学館)

■ いがし電子図書館
『3年間ホケツだった僕がドイツでサッカー指導者になった話 電子版』
中野 吉之伴 / 著 (理論社)



高校時代は3年間補欠だった著者。「上手くなければ試合に出られない」といった常識にとらわれず、サッカーと共に生きる道を模索しドイツへ。現地で学び、指導者として活躍するまでの挑戦と成長の実話です。

読み聞かせボランティアを紹介します ◆おはなしボランティアだっこ



「おはなしボランティアだっこ」は、平成24年4月に結成し、現在3人で活動しています。今年度、青山子育て支援センターで開催している「おはなし会」の9・11・1・3月を担当しています。こどもたちに絵本や紙芝居の読み聞かせをしたり、ウクレレの心地よい音色にあわせて歌を歌ったりと楽しく過ごせるよう工夫しています。子育て支援センターの利用にあわせて、「おはなし会」にぜひご参加ください。

9月の読み聞かせ

絵本の読み聞かせや紙芝居、手遊びなどをします。(30分～1時間程度)

とき	ところ	催物 (読み手)
11日(木) 10:30～	上野図書館	えほんのひろば (ちいさなねこ)
13日(土) 10:30～	大山田図書室	おはなしたいむ (きらきら)
	上野図書館	おはなしの会 (いがぐり)
16日(火) 10:30～	大山田図書室	あかちゃんたいむ・ミニおはなし会
17日(水) 10:30～	上野図書館	えほんの森 (よもよも)
20日(土) 10:30～	阿山保健福祉センター	読みきかせの会 (はあと&はあと)
24日(火) 10:30～	上野図書館	おひざでだっこのおはなし会
27日(土) 10:30～	上野図書館	えほんの泉 (kiko きこ)

暴力追放に向けて



◆三重県暴力団排除条例改正 (令和7年10月1日施行)

この条例は、三重県から暴力団を排除するための基本理念を定めています。県、県民、事業者それぞれの責任を明確にし、暴力団排除に向けた基本的な施策、暴力団排除を進める県民や事業者を保護するための措置、青少年の健全な育成を支援するための措置、暴力団員に利益を提供することの禁止などを規定しています。県民の安全で平穏な生活を守り、社会経済活動の健全な発展に貢献することを目的としています。



～条例の改正点～

- 暴力団排除特別強化地域での禁止行為の規制【新設】
 - 暴力団事務所の開設・運営に対する規制【拡大】
 - 名義利用等の規制【新設】
- 詳しくは、三重県警察ホームページをご覧ください。

問 三重県警察本部組織犯罪対策課
☎ 059-222-0110

伊賀・甲賀地域就職面接会 参加事業所募集



伊賀市・甲賀市内で就職を希望する人を対象に、合同就職面接会を開催します。

開催に先立ち、就労・雇用機会の拡大を目的とする就職面接会の趣旨をご理解いただける事業所を募集します。

【とき】

令和8年1月28日(水) (予定)

【ところ】 上野フレックスホテル
(平野中川原 544-2)

【対象者】

伊賀市、甲賀市を就業場所とする正社員求人ハローワークに提出する事業所(参加対象求人はパートタイム求人も可)

【定員】(予定)

- 伊賀市の事業所: 30
- 甲賀市の事業所: 30

【申込方法】

参加申込書を郵送、メールまたは持参により、下記まで

【申込期間】

9月22日(月)～10月24日(金)

申・問 ハローワーク伊賀

☎ 21-3221

✉ iga-anteisho@mhlw.go.jp

「おもいやり駐車場」には 利用証が必要です



公共施設や商業施設などに設置された「おもいやり駐車場」は、障がいのある人や要介護高齢者、妊産婦やけが人など歩行が困難な人で、三重県が発行する「おもいやり駐車場利用証」を持っている人が利用できます。

「入口に近いから」「空いているから」などの理由で、利用証のない人が駐車してはいけません。

また、おもいやり駐車場の区画数には限りがあります。「おもいやり」と「ゆずりあい」の心で、適正な利用にご協力ください。

◆利用証の申請

障がい福祉課、各支所(上野支所を除く)、こどもの育ち支援課(妊産婦のみ)、伊賀保健所、県庁(家庭福祉・施設整備課)で受け付けています。

※三重県ホームページから電子申請ができます。



申・問 障がい福祉課

☎ 22-9656 FAX 22-9662

✉ shougai@city.iga.lg.jp

芭蕉翁記念館だより



現代でも俳句を清書するときは短冊を使うことがあります。芭蕉さんも生涯のなかで多くの短冊を書いたようです。『奥の細道』にも、現在の栃木県那須町にある殺生石という名所を訪れたときに、馬を引いた男が「短冊に一句書いてくれ」と頼んだエピソードが載っています。短冊は長方形の紙(縦約35cm、横約5cm)で、和歌や俳句を書くためのものです。鎌倉時代から歌会などで使われ、江戸時代には、俳句を人に贈るときに最も一般的な方法になっていました。

芭蕉さんの周りには、短冊コレクターがいたようで、弟子や知人などの句が書かれた短冊を、芭蕉さんが懸命に集めてプレゼントしています。なかでも、現在の愛知県名古屋にある鳴海の庄屋だった下里知足は熱心で、芭蕉さんが弟子だけでなく他門の宗匠にもお願いして短冊に句を書いてもらっていたことが、芭蕉さんの手紙からわかります。短冊を通して芭蕉さんの意外な一面を知ることができます。



(伊賀市蔵)

近代文人画家で京都府画学校初代校長を務めた田能村直入による絵。旅道具として、笠、杖のほか短冊や矢立てなど俳句を書くための道具も描かれています。※「デジタルミュージアム 秘蔵の国 伊賀」にて公開中

◆芭蕉翁記念館企画展「俳人たちの絵」開催中
9月15日(月・祝)まで

◆ギャラリートーク

9月6日(土) 午後1時30分～(要入館料)

◆第79回芭蕉祭特別展「芭蕉一時雨に生きる」開催予定

9月20日(土)～12月23日(火)

問 ○文化振興課 ☎ 22-9621 FAX 22-9619
○芭蕉翁記念館 ☎ 21-2219